

平成29年度第1回富士宮市女性応援会議 議事録

○日時 平成29年4月27日(木) 10時15分～11時45分

○場所 富士宮市役所 430会議室

○配布資料

- ・4月13日開催の庁内会議議事録概要
- ・イクボス宣言資料
ファザーリングジャパン～イクボスプロジェクト (A4両面2枚)
厚生労働省 ☆イクボス宣言☆

1 開会

2 佐藤市民部長挨拶

3 議事

- ・別紙庁内会議議事録より(4月13日開催)
- ・フォトコンテスト、イクボス宣言の実施に向けて
- ・女性活躍推進計画策定について

事務局

女性応援会議で提案されたイクボス宣言について、最近企業、自治体でも取り組むところが増えている。県下でも静岡市などが取り組んでおり、富士宮市でもまず市役所から取り組み将来的には市全体として、賛同していただける企業にもPRしていきたい。イクボス宣言は応援会議発案ということで進めていきたい。

方向性として、いろいろな企業の形態もあるので イクボス宣言を今後企業にも広げるために市役所が第1歩となるよう取り組んでいきたい。

委員長

女性応援会議で提案されたイクボス宣言について、各委員の立場から、また市としてどのように取り組んでいけばよいのか、皆様からご意見をお願いします。

委員

取組としては良いと思うが、宣言をしても中身が伴わなければ意味がない。効果を果たすような取り組みが必要である。年休取得率を〇%にするなど具体的な数字を挙げてハードルを課すことで実現の可能性が高まるのではないかと。

委員

イクボス宣言の内容を見る限り、弊社は育休取得の実績もあり事務部門に限れば実現できるのではないと思う。男性の休暇取得についても周りの反応も好意的であり現在もできている状況である。事務部門は、IT化、事務の効率化、事務の役割分担で対応できる。

難しいのは、生産部門で、中小企業は必要最低限の人員でコストが上がらないようにこなしている状況である。休暇取得を増やしていくと、仕事に合わせた人員の確保に対応しなければならずコスト、人件費が増大する中、お客様にそのコストで仕事の交渉するのは企業としては不安である。製造業は人手不足とコストが大きな課題である。

委員

製造、生産部門はコストの問題や、人材の確保が非常にネックである。
生産部門は残業は多少増えたが、増員はせず年休取得率は50%はあると思う。
これ以上の育児休業取得となると、人材の確保が大きな課題である。
イクボス宣言を推進していくには、有給休暇の取得率UP、育児休業取得率など具体的な数字をあげることはよいと思う。

委員

現場の職員は男性が多く、お客様の注文に合わせた仕事をしており残業が続くことも多い。
女性は20代～50代の事務職員がいる。50代の職員は介護に係る休みが多いが、40代の職員は子育てから一段落した年代で、朝も早く出勤し、残業もしてくれ仕事に大変前向きに取り組んで助かっている。労働力として潜在的な力となり労働に対して大変前向きである。
今まで男性のやっていたことも取り組むようになり女性なりの視点を生かし非常に活躍している。
今年か残業しないように定時退社を心がけているが、仕事もしなければ、というところもあり、経営者（上司）が帰らないと皆も退社しにくい、難しいところである。

委員

今年度から、退庁時間表明制度を始めた。
限りなくある仕事を抱える中、何時に退庁するか、目指す時間を表明することにより、時間の削減を積み重ねていき、仕事の質を落とさずいかに効率をあげるか。タイムマネジメントを合言葉にしている。
イクボス宣言については、現場の職員の仕事のフォローを心がけている。○時以降の電話は上司が取るようにするなど、残業となる原因を取り除く努力をしている。職場の仕事の削減に向け管理職自らに取り組んでいるという姿勢を見せるというところが、自分たちの職場のイクボス宣言にふさわしいのではないかと思う。
自分の時間を持ち、元気な姿で子どもと接することがイクボス宣言にもつながるのではと感じている。

アドバイザー

富士宮市役所で「イクボス宣言」をするということは、市役所の職場で適用されるのであって市民、企業とは別のものであることが前提である。この会議のメリットは、市内企業の方がそろっており、皆積極的に参加しているところが良いところである。
市役所だけでなく、できるなら企業も肩を並べて一緒に宣言できれば、インパクトがあり民間企業もそれに倣おうというイニシアチブになると思う。市全体で取り組みたいという態度を示すことが良いのではないか。
様々な取り組みをしている企業もあると聞くので、そこに声掛けし加わってもらおう。説明に伺うなど、それも周知のひとつと考える。イクボス宣言をするところの下地作りも重要な活動と考える。
企業向けのセミナー、研修、ワークショップなど地元で意見を出し合うような研修もよいのではないか。

育休を取得したら、利益を生むような取り組みをすることが大事である。休暇を取得することが申し訳ないとか我慢するという風潮ではなく、両者にとって得になるような仕組みづくりが求められる。

人材の確保については、イクボス宣言をして、働きやすい職場を作ることが結果として潜在労働力である女性にとっても働きやすい職場になり、人材確保の取組にもつながる。

また、育てて学んだ職員がうつなどで退職することがないように、長く働けるメンタルヘルスケアの取組にもつながるといえる。

委員長

今までの意見を聞いた中で、改めて自分の立場で取り組んでいくには、肩を並べてほかの企業の方にもいっしょに賛同してもらうにはなどご意見を伺いたい。

委員

イクボスについての効果はハードルが高いと思うが、市役所だけでなく市全体で取り組んで輪を広げていくことが大事である。

皆さんの話を伺って、ライフに理解を示しつつも人材の確保やコストの問題に突き当たり、なかなか進まないのではないか。

女性自身の意識も変えて、働くという意識が必要である。年金問題もあり、働いて社会保険に入ることが必要。女性も働かなくては立ち行かない時代となったという背景もある。

委員

イクボスが企業にとってもメリットがあるということが分かった。

宣言することにより、職場への定着率も上がり、精神的にもよいということを改めて感じた。自社は60歳以上の女性も活躍している。高齢者でも知識が豊富で教育係として新規職員の指導をしており、高齢者も働きやすい職場を目指している。

男性、女性ということだけでなく、いろいろな幅広い方の意見を聞くことにより取り組みの幅が広がってくる。

委員

企業は男性女性を問わず活躍できる職場を目指すことを考えていかななくてはならない。

イクボス宣言の意味を市民が知って理解しなければ宣言する意味がない。イクボス宣言をしている企業がライフを大事にしている会社である、と結びつくような啓蒙活動が必要である。市と肩を並べて宣言をする。宣言する企業を公募することで告知効果と啓蒙活動も同時にできるのではないか。

当社で取り組むなら、社員だけでなく社員の家族に向けても宣言するのが効果的。また上司自身の家族に宣言することももちろんである。宣言をしたことがいい意味でプレッシャーとなるのではないか。イクボス宣言をしたということを認知してもらうことも大きな告知になる。

委員

お仏壇のやまきのセミナーを聞き、私生活が充実しているひとほど、仕事にもゆとりがあるという話があった。営業のトップスリーはすべてパートで、行動パターンをみると残業をしていないという結果だったという。

団塊の世代の方で、時間に余裕のある人を労働力として活用できればよいと思う。
ジョブフェスティバルでは40、50、60歳代の方も多く、働きたい人も多いと感じた。
女性や、団塊の世代も活躍できるとりくみとなればよい。トップの意識が変わらないと企業は
変わらない。

委員

職場が明るく働きやすい、人間関係で悩むことがないよう明るくコミュニケーションのある職
場づくりを心掛けている。

イクボス宣言をどう理解してもらうか、育児以外に介護、ライフの充実などの意味を理解し賛
同を得たうえで宣言してもらうことで進めていかなければ意味がない。

学校等の行事への父親の出席が大変増えた実感している。育児に関しては企業の理解がだい
ぶ得られているのではないかと感じる。そういった今、企業が既存でやっていることがイクボ
ス宣言につながると理解、認知してもらい、宣言に参加できると思ってもらえたらこの活動も
浸透してくるのではないか。

職員の家庭の事情や状況を情報として把握し、休暇を取るよう声掛けすることもイクボスであ
る。

アドバイザー

イクボス宣言がいろいろな人を幸せにしていくような取り組みとなればよいと思う。

この理念を皆で共有していくことがこの事業の大切なところなので、宣言だけで終わること
がないよう、また各企業のいろいろなエピソードや具体的で身近な例をたくさん届けられるよう
な活動が良いのではないか。

委員

20代の若い女性は、専業主婦願望の人が多いと聞く。30～40代で逆転する傾向にあると
いうが、働くことは喜びもあり、家計（収入）においても大変重要なことである。将来的に働
かなくてはならない状況であるということを若いうちから理解してもらい、社会保障制度や、
ライフプランを勉強してもらい、社会に出てもらうことが必要である。

委員

人材確保について、業務内容で女性や高齢者には難しいと決めつけてしまっているのではと
思うことがある。個々の個性を生かした業務の見直しという意味での働き方の見直しが、企業に
も求められているのではないか。

イクボス宣言は、どれだけ人を巻き込んで取り組むのが重要で、それにはパワーがいるが、
社員の定着、雇用の充実につながると思う。ただ、どう訴えていくかが難しい課題であるとも
思う。

事務局

この会議には、企業、民間の代表の方が集まっており、行政主導ではない提案や意見を委員の
皆さんからいただき取り組んでいきたいと考えます。

「イクボス宣言」は今日のみなさんの意見をきき大変意味の深い事業であると改めて感じた。
市役所が率先して「イクボス宣言」し、いろいろクリアしなければならないところはあるが、

民間を巻き込んでいく事業としていきたいと思ひます。数字の設定（目標値）についても庁内で連携し取り組んでいきたい。

フォトコンテストについても、今年度実施するので皆様のご協力をお願いします。

閉 会